

今年明るい話題を提供頂いた方の運気で、災いをはねのけ、来年も良い年に！
 女兒の“お守り”である羽子板で10点17人+1頭が登場！

2024年話題の人 『変わり羽子板』 そごう横浜店で展示

■会期:2024年12月6日(金)~10日(火)

■会場:そごう横浜店 7階=羽子板・破魔弓特設会場

※時間:午前10時~午後8時 ※会場は午後7時閉場。最終日は午後3時まで

■そごう横浜店に今年も登場！

年末恒例の「久月・変わり羽子板」。その年明るい話題を提供して下さった人物を羽子板に 描く事で、そのパワー、運気をお借りして「子供に降りかかる魔を打ち祓う」願いを込め「変わり 羽子板」は制作されています。そごう横浜店では2003年に初めて展示され、今年は22回目の開催となる「変わり羽子板」展示。

今年は、大谷翔平選手による記録尽くし&念願のワールドシリーズ制覇、パリ五輪では日本人選手による多くのメダル獲得、TV 界のアカデミー賞といわれるエミー賞での史上最多18冠という快挙達成、アメリア新大統領&日本新総理の誕生、新札発行など今年も様々な話題がございました。そんな明るい話題を提供して下さった人物をモチーフに、【政治・経済】から2点4人、【芸能】から1点2人、【スポーツ】から7点11人+1頭と合計10点/17人+1頭の羽子板を発表いたします。

すべて1点ものの非売品となります。 何卒ご取材下さいますよう、よろしくお願いたします。

《下記の作品を展示します》 敬称略

【政治・経済】 … 2点4人

◆“混戦のすえに”

ドナルド・トランプ(米国次期大統領)、石破茂(内閣総理大臣)

◆“女性リーダーの新時代”

津田梅子(翻訳家/新札)、高野由美子(オリエンタルランド CEO)

【芸能】 … 1点2人

◆“18冠の大將軍”

真田広之(俳優)、アンナ・サワイ(俳優)

【スポーツ】 …7点11人+1頭

◆“神様、オータニ様”

大谷翔平(野球/MLB)

◆“投げて踊って新女王”

北口榛花(陸上/やり投)、AMI(ブレイキン初代女王)

◆“コーチと馬(ウマ)が合った”

加納虹輝(フェンシング)、馬(総合馬術団体)

◆“二十歳の新エース”

藤波朱理(女子レスリング)、岡慎之助(男子体操)

◆“恋(ここ)一番の得意技”

角田夏実(女子柔道)、吉沢恋(スケートボード)

◆“希望を結ぶ凱旋”

小田凱人(男子車いすテニス)、上地結衣(女子車いすテニス)

◆“史上最大の下剋上”

三浦大輔(横浜 DeNA ベイスターズ・監督)



過去開催のイメージ



【政治・経済】 …… 2点4人

◆“混戦のすえに” ドナルド・トランプ(米国次期大統領)、石破茂(内閣総理大臣)

「歴史的接戦」と評される今回の大統領選を制し返り咲きを決めたドナルド・トランプ大統領。悲願であった第28代自由民主党総裁に選出され第102代内閣総理大臣に就任した石破茂総理。石破内閣発足から早くも解散総選挙を行うも自民党が大敗、与党全体でも過半数割れ。石破内閣総辞職から第2次石破内閣が発足と突破口の展開が続く中、日本のリーダーとして国が良くなる方向に期待を込めて制作。

◆“女性リーダーの新時代” 津田梅子(翻訳家/新札)、高野由美子(オリエンタルランド CEO)

約20年ぶりとなる新紙幣の発行となり、女性の地位向上こそが日本の発展につながると信じて、生涯を通じて女性の高等教育のために尽力した津田梅子さんが五千円札に。女性リーダーの象徴として新エリアの拡大、クルーズ事業への参入、過去最高益となるオリエンタルランドの代表取締役会長兼 CEO(女性初)を選出。

【芸能】 …… 1点2人

◆“18冠の大將軍” 真田広之(俳優)、アンナ・サワイ(俳優)

アメリカの優れたテレビ番組などに贈られるエミー賞にて、俳優の真田広之さんがプロデュースと主演を務めたドラマシリーズ「SHOGUN 将軍」がドラマ部門の作品賞を受賞。真田広之さんが主演男優賞、アンナ・サワイさんが主演女優賞を受賞するなど計18の賞を受賞し、エミー賞で最多の受賞記録を打ちたてました。

【スポーツ】 ……7点11人+1頭

◆“神様、オータニ様” 大谷翔平(野球/MLB)

2年連続の本塁打王と初の打点王、メジャー史上初の「50-50(50本塁打50盗塁)」に、日本選手初のトリプルスリーを達成、さらには念願のワールドシリーズを制覇、打者専念で過ごしたメジャー7年目で「伝説の1年」と呼ぶにふさわしい記録と記憶尽くしの成績を残した。

◆“投げて踊って新女王” 北口榛花(陸上/やり投)、AMI(ブレイキン初代女王)

オリンピックの陸上競技・女子フィールド種目では、日本勢初の金メダルを獲得した北口選手。パリ五輪唯一の新競技「ブレイキン」で初代女王となったAMI選手。新女王となった二人から選出。

◆“コーチと馬(ウマ)が合った” 加納虹輝(フェンシング)、馬(総合馬術団体)

パリ五輪にてフェンシング男子エペ個人で金メダル、男子エペ団体で銀メダルと2つのメダルを獲得。「初老ジャパン」の愛称で92年ぶりのメダル獲得から馬のみを選出。フェンシング日本チームの躍進にフランス人コーチのエルワン・ルペシュー氏の存在が大きく、同タイトルとしました。

◆“二十歳の新エース” 藤波朱理(女子レスリング)、岡慎之助(男子体操)

パリ五輪にて女子フリースタイル53kg 級金メダルを獲得した藤波選手(2003年11月11日生)、体操男子団体、個人総合で日本の2連覇を成し遂げた岡選手(2003年10月31日)がともに二十歳で金メダルを獲得。

◆“恋(こ)一番の得意技” 角田夏実(女子柔道)、吉沢恋(スケートボード)

パリ五輪・柔道女子48kg 級決勝で得意技の巴投げで金メダルを獲得した角田選手、大技「ビッグスピンフリップボードスライド」を繰り出し逆転の金メダルを獲得した吉沢選手。得意技で決勝を制した2人から、同タイトルとしました。

◆“希望を結ぶ凱旋” 小田凱人(男子車いすテニス)、上地結衣(女子車いすテニス)

パラリンピック史上最年少での金メダル獲得した小田選手、ダブルス・シングルス2冠に輝いた上地選手。両名の名前をもじり、同タイトルとしました。

◆“史上最大の下剋上” 三浦大輔(横浜 DeNA ベイスターズ・監督)

今季は3位から26年ぶりに日本一を勝ち取ったベイスターズ。「ハマの番長」の愛称で親しまれ、入団以来、一貫して横浜でプレーし2021年より監督就任。来季は1998年以来のリーグ優勝からの2年連続日本一が期待される。